

夢プログラムと国連の持続可能な開発目標

「女性の経済的エンパワーメントは 2030 アジェンダの中心です。女性を経済的にエンパワーするための行動が加速されなければ、持続可能な開発目標を達成することはできないでしょう。私たちは、経済面も含めた生活のあらゆる側面で女性が参加することが、持続可能で永続的な平和と、人権の成就に重要であることを知っています」

アントニオ・グテーレス国連事務総長(2017年3月)

障害を経験した女性と女兒の経済的エンパワーメントを加速させるというのは、国際ソロプチミストアメリカの夢プログラムの焦点であり、国連が概説している女性の平等のためのアジェンダに根差しています。このアジェンダの中心となるのは、「女子に対するあらゆる形態の差別撤廃に関する条約」(1981年)、「北京・行動綱領」(1995年)、そして最近では「持続可能な開発目標」(2016年)です。

「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」における 17 の「持続可能な開発目標(SDGs)」は、2015年9月、歴史的な国連サミットにおいて世界の指導者によって採択され、2016年1月1日に正式に施行されました。向こう 15 年間にわたり、これらの新しい目標はすべてに普遍的に適用され、国々はあらゆる形態の貧困を終結し、不平等と戦い、気候変動に立ち向かいつつ、誰も取り残されることがないことを確実にするための努力を結集します。

17 項目の目標と 169 のターゲットの中で、夢プログラムは 5 つの目標と 12 のターゲットを直接支援します。私たちは、ターゲットに関する進展について国際ソロプチミスト(SI)と共有しており、それによって SDGs への私たちの支援が国連で考慮されることが可能になります。以下は、SDGs と指標、及び夢プログラムがどのように指標を支援するかについて説明したものです。



目標 1.あらゆる場所であらゆる形態の貧困に終止符を打つ

指標

- 2030年までに、現在、「一日1.25ドル未満で生活する人々」と定義されている極度の貧困をあらゆる地域で終わらせる。
- 2030年までに、各国の定義によるあらゆる次元の貧困状態にある、すべての年齢の男性、女性、子どもの割合を少なくとも半減させる。

夢プログラム

夢プログラムは、女性と女兒が潜在能力を発揮できるよう支援することを模索しています。私たちは、貧困生活を送っている女性と女兒を対象としています。女性のための「夢を生きる賞」は、彼女たちがより良い賃金の職を得ること、生活水準を高めることを支援します。女兒のための「夢を拓く」は、彼女たちが貧困のない生活を送るための適切な軌道に乗るようにします。

- 「夢を生きる賞」受賞者の70%が、応募書類に、貧困生活を送っていると記述しました。
- 「夢を生きる賞」受賞者の79.6%が、支出が収入を上回っていると報告しました。
- ブラジル、メキシコ、パラグアイ、フィリピン、パナマの応募者は、一日当たりの収入が1.25ドル未満であると報告しました。
- 「夢を生きる賞」受賞者で、教育課程を修了した人の81%が、生活水準が向上しています。
- 「夢を拓く」に参加した女兒の88%が、「自分の将来の成功により自信が持てる」と感じています。
- 「夢を拓く」に参加した女兒の87%が、「職業の目標を追求する準備がより整った」と感じています。
- 「夢を拓く」に参加した女兒の87%が、「成功する上で妨げとなる障害を克服するための手段」を身に付けています。
- 「夢を拓く」に参加した女兒の87%が、「失敗を克服する新たなツール」を身に付けています。
- 「夢を拓く」に参加した女兒の86%が、自分の職業上の意欲を支援してくれる女性を知っています。
- 「夢を拓く」に参加した女兒の84%が、職業上のお手本となる人物に出会いました。
- 「夢を拓く」に参加した女兒の88%が、自分の将来に達成可能な目標を作りました。

目標 4.すべての人に包摂的かつ公正で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する

指標

- 4.3 2030年までに、すべての人々が男女の区別なく、手頃な価格で質の高い技術教育、職業教育、及び大学を含む高等教育への平等なアクセスを得られるようにする。
- 4.4 2030年までに、技術的・職業的技能など、雇用、働きがいのある人間らしい仕事、及び起業に必要な技能を備えた若者と成人の数を大幅に増加させる。
- 4.5 2030年までに、教育における性の格差を無くし、障害者、先住民及び脆弱な立場にある子どもなど、脆弱な層があらゆるレベルの教育や職業訓練に平等にアクセスできるようにする。

- 4.b 2020年までに、開発途上国、特に後発開発途上国及び小島嶼開発途上国、ならびにアフリカ諸国を対象とした、職業訓練、情報通信技術(ICT)、技術・工学・科学プログラムなど、先進国及びその他の開発途上国における高等教育に参加するための奨学金の件数を全世界で大幅に増加させる。

ソロプチミスト夢プログラム

女性と女兒に質の高い教育を提供することは、私たちの夢プログラムの礎です(それが公式な教育であれ、技術・職業訓練であれ)。私たちは、女性と女兒が自分の潜在能力を発揮するために必要な技能と情報を得られるようにしたいと望んでいます。私たちは、クラブの所在地により、開発途上国の女性が高等教育及び職業訓練へのアクセスを得ることを確実にしています。さらに、障害に直面した女性と女兒に焦点を当てることで、私たちは最も脆弱な人々を含めています。

- 毎年、1,800名以上の女性が、「夢を生きる賞」を通じて自分の教育的目標を支援する資金を受け取っています。
- 毎年、270万ドル以上が、女性の教育及び職業上の目標を支援するために提供されています。
- 「夢を拓く」を開始して以来、9万4,000人以上の女兒が参加しました。
- 私たちの連盟内には、11の開発途上国が含まれており、それらのすべての国々のクラブは女性と女兒の教育的目標を支援しています。それらの国々は次の通りです。アルゼンチン、ボリビア、ブラジル、コロンビア、エクアドル、メキシコ、パナマ、パラグアイ、ペルー、フィリピン、ベネズエラ。

目標 5.ジェンダーの平等を達成し、すべての女性と女兒のエンパワメントを図る

指標

- 5.2 人身売買や性的、その他の種類の搾取など、すべての女性及び女兒に対する、公共・私的空間におけるあらゆる形態の暴力を排除する。
- 5.5 政治、経済、公共分野でのあらゆるレベルの意思決定において、完全かつ効果的な女性の参画及び平等なリーダーシップの機会を確保する。

ソロプチミスト夢プログラム

女性と女兒は、暴力のない暮らしを送るためのツールと資源を必要としています。あまりにも頻繁に、女性と女兒の夢が暴力によって阻止されています。女性は、暴力的なパートナーとの暮らしに戻る理由として、「金銭的な安定がない」と報告しています。「夢を生きる賞」は、女性が、自立か暴力かの選択をする必要をなくします。両プログラムとも、女性と女兒に、彼女たちがリーダーになり、教育及び自身の職業上の目標を追求する機会を含め、政治、経済、公共分野に完全に参加するために必要な資源を提供します。

- 「夢を生きる賞」受賞者の半数以上(56%)が、何らかの形態の暴力に苦しんだ経験があると報告しました。
- 「夢を生きる賞」受賞者の96%が、安全な環境で暮らしていると報告しました。
- 毎年、1,800名以上の女性が、「夢を生きる賞」を受賞しています。
- 「夢を拓く」を開始して以来、9万4,000人以上の女兒が参加しました。
- 「夢を生きる賞」受賞者の93%が「自尊心が高まった」と報告しています。

- 「夢を拓く」に参加した女兒の 88%が、将来の成功に自信を持つことができます。
- 「夢を拓く」に参加した女兒の 87%が、「職業の目標を追求する準備がより整った」と感じています。
- 「夢を拓く」に参加した女兒の 87%が、「成功する上で妨げとなる障害を克服するための手段」を身に付けています。
- 「夢を拓く」に参加した女兒の 87%が、「失敗を克服する新たなツール」を身に付けています。
- 「夢を拓く」に参加した女兒の 86%が、自分の職業上の意欲を支援してくれる女性を知っています。
- 「夢を拓く」に参加した女兒の 84%が、職業上のお手本となる人物に出会いました。
- 「夢を拓く」に参加した女兒の 88%が、自分の将来に達成可能な目標を作りました。

目標 8.すべての人のための持続的、包摂的かつ持続可能な経済成長、生産的な完全雇用と働きがいのある人間らしい仕事を推進する

指標

- 8.5 2030 年までに、若者や障害者を含むすべての女性及び男性の、完全かつ生産的な雇用及び働きがいのある人間らしい仕事、ならびに「同一の価値がある労働に同一の賃金」を達成する。
- 8.6 2020 年までに、就労、就学及び職業訓練のいずれも行っていない若者の割合を大幅に減らす。

ソロプチミスト夢プログラム

夢プログラムは、女性と女兒が労働力となり、経済的にエンパワーされるよう準備します。夢プログラムによる支援と資源を通じて、私たちは、女性と女兒が働きがいのある人間らしい仕事へのアクセスを確実に得るようにします。

- 毎年、1,800 名以上の女性が、「夢を生きる賞」を通じて自分の教育的目標を支援する資金を受け取っています。
- 「夢を拓く」を開始して以来、9 万 4,000 人以上の女兒が参加しました。
- 「夢を生きる賞」受賞者で、教育課程を修了した人の 81%が、生活水準を向上させています。
- 「夢を拓く」に参加した女兒の 88%が、「自分の将来の成功により自信が持てる」と感じています。
- 「夢を拓く」に参加した女兒の 87%が、「職業の目標を追求する準備がより整った」と感じています。
- 「夢を拓く」に参加した女兒の 87%が、「成功する上で妨げとなる障害を克服するための手段」を身に付けています。
- 「夢を拓く」に参加した女兒の 87%が、「失敗を克服する新たなツール」を身に付けています。
- 「夢を拓く」に参加した女兒の 86%が、自分の職業上の意欲を支援してくれる女性を知っています。
- 「夢を拓く」に参加した女兒の 84%が、職業上のお手本となる人物に出会いました。
- 「夢を拓く」に参加した女兒の 88%が、自分の将来に達成可能な目標を作りました。

目標 10.国内及び国家間の格差を是正する

指標

- 10.1 2030 年までに、各国の所得下位 40%の所得成長率について、国内平均を上回る数値を漸進的に達成し、持続させる。

- 10.2 2030 年までに、年齢、性別、障害、人種、民族、出自、宗教、あるいは経済的地位、その他の状況に関わりなく、すべての人々のエンパワー、及び社会的、経済的及び政治的な包含を促進する。

ソロプチミスト夢プログラム

夢プログラムは、障害を経験した女性と女兒に手を差し伸べることで、教育と訓練へのアクセスを通じて彼女たちをエンパワーできるよう模索することに、焦点を当てています。両プログラムとも、女性と女兒が確実に経済的にエンパワーされることを模索しています。

- 毎年、1,800 名以上の女性が、「夢を生きる賞」を通じて自分の教育的目標を支援する資金を受け取っています。
- 毎年、270 万ドル以上が、女性の教育及び職業上の目標を支援するために提供されています。
- 「夢を生きる賞」受賞者で、教育課程を修了した人の 81%が、生活水準を向上させています。
- 「夢を拓く」を開始して以来、9 万 4,000 人以上の女兒が参加しました。

データの出典:

- 過去 5 年間の「夢を生きる賞」受賞者のアンケート調査データの平均。
- リジョン及び連盟本部の「夢を生きる賞」受賞者の応募申請書に関する 3 年間の調査。
- 「夢を拓く」の影響に関するデータの 4 年間の平均。